

## 令和8年度広島県立農業技術大学校講義委託業務仕様書

### 1 事業の目的

広島県立農業技術大学校（以下、「大学校」という。）は、専門的な知識と技術、幅広い教養及び社会への適応力を、先端技術を取り入れた実践的な教育を通して養い、もって農業・農村社会に期待される中心的な担い手を育成することを目標に教育を実施しており、平成21年からは学校教育法に基づく専修学校として運営している。

大学校では、教育内容の検証、見直しを随時行っており、今回、その一環として、キャリア教育部門の充実を図るため、外部講師への業務委託を実施することとした。

### 2 業務委託

#### (1) 業務の概要

大学校に講師を派遣し、学生等に対し座学、演習等を組み合わせた講義を実施する。

本業務の受託者は、大学校生に対し、事前調査、中間検討、学力検査等を行い、期末には大学校教務職員等と学生評価を行う。

#### (2) 業務（講義）の内容

##### ア 基本事項

項 目	内 容
ねらい	社会人、職業人としての基礎的資質・能力の向上を図る。
現 状	<p>本校の学生は、全体的には基礎学力、学習意欲が低下傾向にあり、2極化が見られる。</p> <p>このような中、以下の項目について課題となっている。</p> <p>① コミュニケーションがうまく取れない</p> <p>② 最低限の社会常識が身につけていない（あいさつ、敬語等言葉遣い、ルールを守る等のマナー）</p> <p>③ 自分で考えない、自分で行動ができない</p> <p>④ 自己管理できない</p>
到達目標	<p>【現状】入学者の割合：高校卒業入学者約80%、社会人入学者約20%</p> <p>【目標】○課題を克服するための講義を通じて、基礎を習得と共に、基本動作を身に付け、学業及び就農・就職に活かす。</p> <p>○社会人として許容できる資質・能力を持つ学生が80%以上</p> <p>・各テーマの習熟度評価、総合評価を実施（何が伸びて何が伸びていないか、伸びていない分野は今後伸びる可能性があるか等）</p>
その他	<p>○座学のみでなく、ロールプレイ、演習等をできるだけ多用し、複数名の講師での対応とする。</p> <p>○意欲の高まる講義に配慮し、教職員も聴講をし、授業の手法を学ぶ。</p> <p>○期首に学力（現状の①～④、及び基礎学力）調査、期中に教職員との中間検討（学習態度等について）、期末に総合評価を行なう。（評価方法は事前に調整する）</p>

##### イ 学習計画

項 目	内 容	備 考
対象学年	1年、2年	
参加学生数	1年：29名程度（1年全員（ただし社会人除く）） 2年：17名程度（1年全員（ただし社会人	

	除く))	
参加教員数	数名 (交代で聴講)	
総委託時間数	82.5 時間 (50 コマ) <事前打合せ、中間検討、評価、特別講義の時間含む>	・ 1.5 時間/コマ ・ < >は 7.5 時間
授業時間数	75 時間 (50 コマ)	
1 テーマ当りコマ数	特に定めなし (全体の中で調整)	
実施形態	講義、ロールプレイ等演習、グループディスカッション、発表	
実施場所	大教室 (100 人規模)、体育館、運動場	小教室の使用も可能
実施期間	契約期間とする	詳細は、事前打合せで調整
授業内容	学習目標は「講義内容」のとおり	
授業外の課題	事前・事後レポート等の課題は、必要に応じ実施	
利用可能機材	スクリーン、プロジェクター、音響設備、体育関係はボール、ヨガ用マット	農場施設設備も使用可能
受講記録	学生個人が毎回記録 (様式は別途協議)	教員の閲覧・押印あり
講義計画変更	中間評価時 (9 月) に必要に応じ実施	
被評価者	受講学生全員 (学生自己評価も実施)	
評価時期	講義 (テーマ単位) 終了時、中間 (9 月) 及び期末時	受講態度等は本校教員が随時行なう
評価実施者	講師、本校教員	
評価方法	・ 出欠、アンケート、テスト、実演、発表、成果物としての資料 ・ 受講日誌、受講及び普段の学習態度評価 (参加教員による)	詳細は事前に協議 総合評価は検討会を通じ行なう

## ウ 講義内容

### 社会人基礎力Ⅱ (2 年生)

授業内容	到達目標	講義演習時間
シチュエーションスピーチ	社会の中で遭遇する場面を想定して、場面に適した挨拶を考え、疑似体験することで、社会での実践力を身につけるようになる。	3.0
文章構成力応用、面接対策	基礎を踏まえ、正確な情報収集と発信ができるようになる。 模擬面接により、就職試験で自信をもって話せるようになる。	4.5
社会人講話	社会で活躍している人が、どのように考え、行動しているのか具体的に学ぶことで自らの将来について考えるようになる。	1.5
キャリアシミュレーション	ゲームを通して、社会人の生活で自分がどのように対応するのか考えるようになる。	1.5
グループディスカッション	農業に関することや社会人としての考え方を知り、グループディスカッションで他者の意見を共有できるようになる。	4.5
計		15.0

社会人基礎力Ⅰ (1年生)

授業内容	到達目標	講義演習時間
タイムマネジメント	効率的なタイムマネジメント、自己管理能力、自己統制力を身につけるようになる。	1.5
ライフプラン	自分の将来にかかるお金や必要なことについて身につけ、将来の生活設計を考えるようになる。	1.5
キャリアデザイン・自己開発	自分分析、他者分析、過去の行動から見た自分、価値観や行動パターン、自分の歴史を振り返ることにより、強みを伸ばし、私のキャリアデザイン、目標に向かってチャレンジするようになる。	4.5
社会人講話	社会で活躍している人が、どのように考え、行動しているのか具体的に学ぶことで自らの将来について考えるようになる。	1.5
コミュニケーション基礎・プレゼンテーション	プレゼンテーションをすることにより、自分の意見をまとめたり発表することができるようになる。	3.0
グループディスカッション	農業に関することや社会人としての考え方を知り、グループディスカッションで他者の意見を共有できるようになる。	3.0
グループワーク	農業人生ゲーム(すごろく)を通して、協調性、論理的思考力、自主性、巻き込む力を身につけるようになる。	7.5
調査と分析	アンケート調査の基本、分析手法、グラフ作成、発表方法を学ぶことにより、協調性、論理的思考力、自主性、巻き込む力を身につけるようになる。	7.5
計		30.0

保険体育Ⅱ (2年生)

授業内容	到達目標	講義演習時間
基礎体力向上、ストレッチと有酸素運動	体に負担のないストレッチ方法を身に身につけるようになる。 グループで考えたストレッチ方法について発表し、皆で共有するようになる。	4.5
グループワーク	今後健康維持のためにすることを考えることにより、自己管理手法を身につけるようになる。	10.5
計		15.0

保険体育 I (1年生)

授業内容	到達目標	講義演習時間
基礎体力向上、ストレッチと有酸素運動	体に負担のないストレッチ方法を身に身につけるようになる。 グループで考えたストレッチ方法について発表し、皆で共有するようになる。	10.5
ストレスコントロールと自律訓練法	今後健康維持のためにすることを考えることにより、自己管理手法を身につけるようになる。	4.5
計		15.0

その他

講義の内容については、複数のテーマを併せて行うことで学習効果を高めるなど、全体授業時間内で工夫し実施することを可能とする。

(3) 業務（講義）の実施体制

ア 大学校生に対し、学習効果が最大限発現できるように、複数人で業務（講義）を実施すること。

イ 業務（講義）の実施にあたっては、事前に大学校職員と調整を行うこと。

ウ 受託者は大学校生に対し、アンケート、テスト等を実施することにより、学習状況を把握し、必要に応じて研修内容等の変更を検討するなど、適切に事業目的を遂行するよう努めなければならない。

(4) 実施状況の報告

実施した業務（講義）状況（講師名、受講人数、日程、講義内容、状況写真等）について、中間評価時及び期末評価時に報告すること。

3 業務実施期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

4 留意事項

- (1) 受託者は、大学校と連絡調整を十分に行い、円滑に業務を実施すること。
- (2) 大学校は、業務実施過程において本仕様書記載の内容の変更の必要を生じた場合、受託者に仕様変更の協議を申し出る場合がある。この場合、受託者は委託料の範囲内において仕様変更に応じること。
- (3) 受託者は、業務実施過程で疑義が生じた場合、速やかに大学校に報告し協議を行い、その指示を受けること。
- (4) 受託者は、委託業務上発生した障害や事故については、大小に関わらず大学校に報告し指示を仰ぐとともに、早急に対応を行うものとする。
- (5) 受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密として扱い、契約目的以外の利用や第三者への提供を行ってはならない。
- (6) 受託者は、本業務（再委託した場合を含む）における個人情報の取扱いに当たっては広島

県個人情報保護条例（平成 16 年 12 月 17 日広島県条例第 53 号）を遵守しなければならない。

(7)その他、本契約の範囲内において、この仕様書に記載のない事項については、関係者において協議し、決定する。